

JJ-20.20

**PBX間 デジタルインタフェース
(共通チャネル信号方式) - 概説**

Digital Interface between PBXs
(Common Channel Signalling) - General Aspects

第2版

1993年11月26日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

<参考>

1. 国際勧告等との関連

本標準に関連する国際勧告はない。

(注) 将来、ITU-TもしくはJTC1においてPBX間デジタルインタフェース(共通チャンネル形信号方式)に関連する規定が勧告化された時点で、本標準の改訂が検討されることとなる。

2. 上記国際勧告に対する追加項目等

なし

3. 改版の履歴

版数	発行日	改版内容
第1版	平成 2年 4月25日	制定
第2版	平成 5年11月26日	Bチャンネル閉塞レイヤ3仕様(JJ-20.23)の制定に伴う修正

4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

5. その他

(1) 参照している勧告、標準等

TTC標準: JT-I431, JT-Q921, JT-Q931

JT-I431-a, JJ-20.21, JJ-20.22,

JT-I431-c, JT-Q921-a, JT-Q931-a

JJ-20.23

目 次

1. 概要	1
2. 適用対象	1
3. 規定の概要	1
4. 関連標準の構成	2

1. 概要

本標準は、高速デジタル専用線を介して接続されるPBX間デジタルインタフェースに適用される共通チャンネル形信号方式に関連する標準の概要を記述する。

PBX間デジタルインタフェース（共通チャンネル形信号方式）に関連する標準では、接続構成、サービス条件、レイヤ1、レイヤ2、レイヤ3を規定する。

詳細内容は、TTC標準JJ-20.21, JJ-20.22, JT-I431-c, JT-Q921-a, JT-Q931-a および JJ-20.23それぞれに記述されている。

PBX間デジタルインタフェース（共通チャンネル形信号方式）の標準は、平成元年4月までに発行されたISDNのユーザ網インタフェースに適用されるTTC標準JT-I431, JT-Q921, JT-Q931等との共通化、整合性を考慮している。

PBX間デジタルインタフェース（共通チャンネル形信号方式）の標準第1版では早期に標準化を要望された回線交換の基本接続サービスを対象としている。標準第2版ではBチャンネル閉塞機能に必要なレイヤ3仕様を追加した。

2. 適用対象

PBX間デジタルインタフェース（共通チャンネル形信号方式）に関連する標準は、PBXが高速デジタル専用線を介して接続され（TDMを介して接続される場合、TDMを介さずに接続される場合を含む）、共通チャンネル形信号方式でPBX間のデジタル回線を接続制御する場合に適用される。

ISDNの公衆網を介して、PBX間を接続する場合への適用は、今後の課題である。

3. 規定の概要

本標準に関連する標準で規定される規定点と規定概要を表3-1/JJ-20.20に示す。

表3-1/JJ-20.20 規定点と規定概要

形態	規定点	レイヤ1	レイヤ2	レイヤ3
TDMを介してNT1に接続する形態	PBX-TDM間	JT-I431相当	JT-Q921相当	JT-Q931相当
直接NT1に接続する形態	PBX-NT1間	通信事業者が規定		

4. 関連標準の構成

本標準に関連する標準は以下のとおり。

- JJ-20.20 : PBX間デジタルインタフェース (共通チャンネル形信号方式)
-概説-
- JJ-20.21 : PBX間デジタルインタフェース (共通チャンネル形信号方式)
-接続構成-
- JJ-20.22 : PBX間デジタルインタフェース (共通チャンネル形信号方式)
-サービス条件-
- JT-I431-c : PBX-TDM間デジタルインタフェース (共通チャンネル形信号形式)
-一次群速度 レイヤ1仕様-
- JT-Q921-a : PBX間デジタルインタフェース (共通チャンネル形信号方式)
-レイヤ2仕様-
- JT-Q931-a : PBX間デジタルインタフェース (共通チャンネル形信号方式)
-レイヤ3仕様-
付属資料 (SDL)
- JJ-20.23 : PBX間デジタルインタフェース (共通チャンネル形信号方式)
-Bチャンネル閉塞 レイヤ3仕様-

第2版 執筆作成協力者（平成5年8月現在）

（JJ-20.20 改版）

第三部門委員会

（敬称略）

委員長 山本 正彦 日本電気(株)
副委員長 杉本 晴重 沖電気工業(株)
副委員長 佐野 和義 日本ユニシス(株)
千葉 克實 国際電信電話(株)
天野 清憲 エヌ・ティ・ティ・データ通信(株)
高橋 秀公 住友電気工業(株)
黒部 紘之 日本アイ・ビー・エム(株)
鎌田 崇 東京電力(株)
藤本 寛 日本情報通信コンサルティング(株)
小林 秀樹 (株)リコー
前委員長 麻生 忠宏 日本電気(株)

吉田 慎一郎 日本電信電話(株)
閨井 清 (株)東芝
秋山 滋 富士通(株)
小原 晋 (株)日立製作所
小澤 和幸 日本電信電話(株)
青山 滋 三菱電機(株)

第三部門委員会第一専門委員会

委員長 吉田 慎一郎 日本電信電話(株)
副委員長 閨井 清 (株)東芝
副委員長 秋山 滋 富士通(株)
酒井 豊 国際電信電話(株)
柴田 邦弘 東京通信ネットワーク(株)
川口 博司 日本電信電話(株)
辻野 雅浩 (株)インテック
大塚 淳一 エヌ・ティ・ティ・データ通信(株)
柳田 清 アンリツ(株)
速水 均 岩崎通信機(株)
萱島 元司 沖電気工業(株)
川鍋 裕紀 オムロン(株)
高橋 匠 キヤノン(株)
日比野 悟 三洋電機(株)
大地 治重 シャープ(株)
松野 敬司 新日本製鐵(株)
勝海 繁範 住友電気工業(株)
石川 清 (株)東芝

酒井 一郎 日本アイ・ビー・エム(株)
藤岡 雅人 日本電気(株)
大井 真実 日本無線(株)
小椋 悟 日本ユニシス(株)
平岩 賢志 (株)日立製作所
小松 雅喜 (株)日立テレコムテクノロジー
都外川 紀文 富士通(株)
三塚 正博 松下通信工業(株)
松山 浩司 三菱電機(株)
秋山 幸治 明星電気(株)
中野 和雄 (株)リコー
吉川 恵嗣 東京電力(株)
穴戸 隆司 日本デジタルエイクイメント(株)
豊川 博仁 日本情報通信コンサルティング(株)

〔JJ-20.20の改版 検討グループ〕

◎ 白川 雅一 (株)東芝
○ 水口 学 日本電気(株)
伊藤 昌幸 日本電信電話(株)
圓佛 弘志 (株)インテック
渡辺 正晃 沖電気工業(株)
水野 誠一 シャープ(株)
東 孝昭 (株)日立製作所

小松 雅喜 (株)日立テレコムテクノロジー
上原 毅 富士通(株)
柴田 孝義 松下通信工業(株)
寺島 浩二 三菱電機(株)
山下 祐司 東京電力(株)

事務局 川村 弘 (第三技術部)

第1版執筆作成協力者（平成2年2月1日現在）

（JJ-20.20の制定）

第三部門委員会 第一専門委員会

（敬称略）

委員長	柏村 卓男	日本電信電話(株)			
副委員長	和田 洋夫	富士通(株)			
	久保田恭一	国際電信電話(株)	諸星 達也	(株)アルファシステムズ	
	吉田慎一郎	日本電信電話(株)	池田 直明	企業通信システムエンジニアリング(株)	
	武田 恒男	エヌ・ティ・ティ・データ通信(株)	渡辺 恭行	東京電力(株)	
	山本 隆司	日本情報通信(株)	竹原 啓五	日本通信協力(株)	
	松本 功	アンリツ(株)			
	森内宏一郎	沖電気工業(株)	久島 和則	沖電気工業(株)	
	日比野 悟	三洋電機(株)	前野 順一	(株)東芝	
	西原 勉	住友電気工業(株)	徳永 正人	日本電信電話(株)	
	関井 清	(株)東芝	川村 雅生	日本情報通信(株)	
	浜崎 純一	日本アイ・ビー・エム(株)	大埜 廣治	住友電気工業(株)	
	大島 敏	日本A T & T(株)	戸所 孝昭	日本アイ・ビー・エム(株)	
	松下 稔	日本電気(株)	筒井 孝司	日本電気(株)	
	大井 真実	日本無線(株)	辻井 国雄	日本無線(株)	
	小野 勲	日本ユニシス(株)	山浦 史雄	日本ユニシス(株)	
	平岩 賢志	(株)日立製作所	入部 真一	(株)日立製作所	
	小松 雅喜	(株)日立テレコムテクノロジー	進来 俊	富士通(株)	
	山本 雅治	富士通(株)	中野 栄	三菱電機(株)	
	三塚 正博	松下通信工業(株)	岡田 一男	明星電気(株)	
	岩橋 努	三菱電機(株)			
	多田 正信	明星電気(株)			